

令和 6 年度第 3 回政策評価委員会 資料

議題

1. 新基本計画(2025-2029)について

(1)新基本計画(2025-2029)のご報告

2. 令和5年度施策評価(令和6年度実施)結果の課題分析と対応

(1)【課題1】成果指標と活動指標の達成状況の乖離

(2)【課題1への対応】新基本計画における成果指標と活動指標

(3)【課題2】定性的評価

(4)【課題2への対応】新基本計画の施策評価における定性的評価の視点

3. 令和6年度(令和7年度実施)行政評価について

(1)令和6年度(令和7年度実施)行政評価スケジュール(案)

(2)施策評価(案)

(3)事務事業評価(案)

1. 新基本計画(2025-2029)について

(1) 新基本計画 (2025-2029) のご報告

①豊島区基本計画(2025-2029)

→【資料2】豊島区基本構想・基本計画 (案)

①指標・目標値

→【資料3】基本計画 (2025-2029) の指標一覧
【参考資料】指標設定チェックシート

2. 令和5年度施策評価(令和6年度実施) 結果の課題分析と対応

(1)【課題1】成果指標・活動指標の達成状況の乖離

①活動指標は目標達成、成果指標は目標未達成となった施策

68施策中4施策 ※3施策抜粋(1施策は成果指標・活動指標の差が小さかったため割愛)

施策No.	施策	成果指標	成果指標達成率 目標未達成	活動指標	活動指標達成率 目標達成
4-1-2	困難を有する子どもやその家族への支援	発達相談から専門相談につながった割合【%】	52.8%	発達相談件数(西部子ども家庭支援センター)【件】	130.4%
6-3-3	自転車利用環境の充実	自転車走行環境整備済路線【km】	38.6%	駐輪場における子供乗せ大型自転車等スペース確保	104.6%
6-5-2	交通安全対策の推進	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件/年】	67.1%	幼児・児童及び高齢者用自転車ヘルメット補助件数【個/年】	150.2%

(1)①活動指標は目標達成、成果指標は目標未達成となった施策(a)

4-1-2 困難を有する子どもや その家族への支援	成果を測る 参考指標	発達相談から専門相談につながった割合【%】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	C:未達成	目標値	55.0	55.0	60.0	60.0
			実績値	51.0	58.0	31.7	
			達成率	92.7%	105.5%	52.8%	
	活動指標	発達相談件数(西部子ども家庭支援センター)【件】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	S:目標を超過し達成	目標値	5,700	5,700	5,700	5,700
			実績値	5,645	5,083	7,430	
			達成率	99.0%	89.2%	130.4%	
達成状況分析	専門相談件数が増加しており待機者数も未だにいることから、サテライト型の相談支援も含め早期に対応できるよう取り組む。発達相談から専門相談につながった割合が減少しているが、発達相談の年齢層が低く、専門相談につなげるには早い年齢が多かったことが要因で、一過性の状況と分析している。発達相談の件数は、対前年度比146%と大幅に伸びており、発達に疑いをもつ保護者が多いことが推察される。						

➡成果指標の達成率低下は発達相談に来た子どもの年齢層の若さであると分析されており、理解できる内容。

(1)①活動指標は目標達成、成果指標は目標未達成となった施策(b)

6-3-3 自転車利用環境の充実	成果を測る 参考指標	自転車走行環境整備済路線【km】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	D:大きく未達成	目標値	3.2	7.5	12.7	17.9
			実績値	2.6	3.7	4.9	
			達成率	81.3%	49.3%	38.6%	
	活動指標	駐輪場における子供乗せ大型自転車 等スペース確保【台】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	A:達成	目標値	297	302	305	308
			実績値	297	302	319	
			達成率	100.0%	100.0%	104.6%	
達成状況分析	区内の自転車走行環境整備済路線や駐輪場における子ども乗せ大型自転車等スペース確保等の自転車利用環境の充実が着実に図られている。						

➡所管課の分析では成果指標の達成率に対する認識が非常に甘く、未達成の理由が不明。
次年度以降の施策評価にて、達成状況分析の記載に対する事務局の確認をより丁寧に行い、所管課の分析を促す。

(1)①活動指標は目標達成、成果指標は目標未達成となった施策(c)

6-5-2 交通安全対策の推進	成果を測る 参考指標	区内の自転車乗用中の交通事故発生 件数【件/年】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	C:未達成	目標値	246	236	231	226
			実績値	342	306	307	
			達成率	61.0%	70.3%	67.1%	
	活動指標	幼児・児童及び高齢者用自転車ヘル メット補助件数【個/年】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	S:目標を超過し達成	目標値	605	610	615	620
			実績値	556	562	924	
達成率			91.9%	92.1%	150.2%		
達成状況分析	区内の自転車乗用中の交通事故発生件数が減少しておらず、引き続き、自転車の事故防止と利用者のルール遵守を促進するための啓発及び指導・助言活動を実施する。あわせて、高齢者や子育て世代の保護者を対象とした交通安全研修会を実施し自転車用ヘルメットの購入補助を推進するとともに、令和5年7月11日より購入補助を全年齢層に拡大し、自転車ヘルメット着用の普及啓発を推進した。						

➡所管課の分析から、活動の対象範囲を拡大したため活動指標が大きく伸びたことがわかる。
成果指標の達成率については、そもそも交通事故発生件数は区民だけではなく区外の方が起こした数を含めた事故数であり、行政の活動によりコントロールが難しい指標設定であることが一因と考えられる。

(1) 【課題 1】 成果指標・活動指標の達成状況の乖離

②活動指標は目標未達成、成果指標は目標達成した施策

68施策中8施策 ※特に乖離の大きい4施策を抜粋

施策No.	施策	成果指標	成果指標達成率 目標達成	活動指標	活動指標達成率 目標未達成
3-1-2	総合的・包括的なケア基盤の充実	高齢者総合相談センターの認知度【%】	93.3%	福祉包括化推進会議の事例検討数【件】	22.0%
6-1-4	居心地が良く歩きたくなる空間づくり	「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	98.6%	エリアマネジメントの団体数【団体】	50.0%
6-4-1	災害に強い都市空間の形成【重点】	未収事業地区内の不燃領域率【%】	96.9%	不燃化特区・都市防災不燃化促進事業助成金件数【件】	44.1%
6-4-3	被害軽減のための応急力対応力向上	「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」と思う区民の割合【%】	92.7%	防災協定締結自治体・民間団体等との協定見直し件数【件】	0.0%

(1)②活動指標は目標未達成、成果指標は目標達成した施策(a)

3-1-2 重層的・包括的な ケア基盤の充実	成果を測る 参考指標	高齢者総合相談センターの認知度【%】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	B:相当程度達成	目標値	56.5	57.0	58.0	59.0
			実績値	54.1	60.2	54.1	
			達成率	95.8%	105.6%	93.3%	
	活動指標	福祉包括化推進会議の事例検討数 【件】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	D:大きく未達成	目標値	20	40	50	60
			実績値	7	35	11	
			達成率	35.0%	87.5%	22.0%	
達成状況分析	・高齢者総合相談センターの認知度は、調査方法の一部変更により令和4年度よりも下がったが、目標に対して相当程度達成した。 ・重層的支援体制整備事業の本格実施に伴い、福祉包括化推進会議の法的位置づけが変更されたことで、令和5年度開催全9回のうち4回を会議の仕組み等の検討時間に充てたため、事例検討数は減少した。						

➡所管課の分析から、活動指標の未達成理由は法制度改定による計画的な減少と理解できる。それにも関わらず成果指標の達成率は高いことから、活動指標の成果指標への寄与度が小さかったと考えられる。

(1)②活動指標は目標未達成、成果指標は目標達成した施策(b)

6-4-1 災害に強い都市空間の形成 【重点】	成果を測る 参考指標	密集事業地区内の不燃領域率【%】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	B:相当程度達成	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0
			実績値	64.2	65.6	67.8	
			達成率	91.7%	93.7%	96.9%	
	活動指標	不燃化特区・都市防災不燃化促進事業 助成金件数【件】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	C:未達成	目標値	223	231	247	247
			実績値	103	110	109	
			達成率	46.2%	47.6%	44.1%	
達成状況分析		○不燃領域率は、市街地の「燃えにくさ」を表す指標であり、目標である70%に向けて、順調に防災性の向上が図られている。 ○個々の建て替えを促すにも限度があるため、達成率は44.0%となっている。助成制度のパンフレット配布や促進イベント等を定期的に開催し、不燃化の機運を醸成させていく。					

➡施策内容を鑑みると、成果指標・活動指標の設定自体は適正であり、成果指標の目標値も適性の範疇と考えられる。しかし、活動指標の目標値については、所管課分析のとおり行政の活動を以ても個々の建て替えの促進が現実的には難しい点を考慮すると、高すぎる目標値を設定していた可能性がある。活動指標の成果指標への寄与度も小さかったと考えられる。

※施策6-1-4も類似のケース

(1)②活動指標は目標未達成、成果指標は目標達成した施策(c)

6-4-3 被害軽減のための 応急対応力向上	成果を測る 参考指標	「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」と思う区民の割合【%】		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	B:相当程度達成	目標値	15.3	16.0	16.0	16.0
			実績値	15.3	15.8	13.9	
			達成率	100.0%	98.8%	86.9%	
	活動指標	防災協定締結自治体・民間団体等との協定見直し件数(件)		後期計画策定時 (2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度 達成状況	D:大きく未達成	目標値	5	10	10	10
			実績値	5	17	0	
			達成率	100.0%	170.0%	0.0%	
達成状況分析	・令和4年度に帰宅困難者対策に関する協定の見直しに着手したため、令和4年時点で目標値を達成している。今後は帰宅困難者以外の協定に関しても、見直しを行っていく必要がある。						

➡計画期間の早期に目標を達成してしまったため、単年度評価では活動指標が達成率が0%となったケース。

(2)【課題1への対応】新基本計画における成果指標と活動指標①

<課題のまとめ>

- ①後期基本計画(2022-2024)の施策は**成果指標1つ、活動指標1つ**を設定し、施策評価上も、施策に設定した2つの指標のみを進捗管理している。
そもそも活動指標は施策に対して小さな範囲を指すものが多く、設定された活動指標以外の要因で成果指標が上下している可能性は大きい。
- ②当初の目標値が不適当と考えられる指標がある。
また、計画期間中の不可抗力的な要因により、目標値通りの達成状況にならないことも十分に考えられる。
- ③行政の活動以外の外部要因が結果に影響している可能性が考えられる。
(例:区民意識調査の回答＝約6割)

(2)【課題1への対応】新基本計画における成果指標と活動指標②

○原則「成果指標」を2つ設定することとしたが、一部「成果指標」「活動指標」を1つずつ設定した施策がある(7施策／50施策)

施策No.	施策	指標①		指標②	
1-①-1	区民の生命を守る総合危機管理力の向上	成果指標	「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靱なまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	活動指標	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】
1-①-2	総合的・包括的なケア基盤の充実	成果指標	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	活動指標	災害ボランティア登録人数【人】
2-①-2	未就学児の子育て世帯への支援	成果指標	マイほいくえん登録者数【人】	活動指標	子ども家庭支援センター相談件数【件】
2-①-4	援助を必要とする子育て家庭への支援	活動指標	子育てエール(子育て世帯見守り訪問事業)のエスカレーション件数【件】	成果指標	居所のない女性・母子(DV被害者含む)を保護対応した件数【件】
2-②-1	就学前の子どもに対する教育	成果指標	学校・園は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図っていると思うと肯定的な回答をした人の割合【%】	活動指標	保幼小連絡会の開催数【回】
7-①	地域の特性を生かした都市づくり	活動指標	地区計画の区域面積【ha】	成果指標	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】
7-④	魅力あふれる公園づくり	成果指標	「近くに好きな公園がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】	活動指標	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】

(2)【課題1への対応】新基本計画における成果指標と活動指標③

<新基本計画での指標設定の改善点>

- 原則、成果指標2つの設定とし、50施策中43施策は成果指標2つを設定。
- やむなく活動指標を設定したものについても、最も施策や取組方針の内容を広く正確に表すと考えられる指標を設定した。

➡従来より、施策を大きくカバーする指標を設定

<新基本計画での指標設定の課題>

- 7施策については、成果指標・活動指標1つずつ設定せざるをえなかった。
- 指標のみでは完全な評価はできない。

➡成果指標・活動指標を補完する視点として、
施策評価における定性的記載の活用をブラッシュアップ

(3)【課題2】定性的評価

- 令和5年度政策評価委員会での意見を踏まえ、所管課へのヒアリングの機会を多く確保し、定性的記載の調整を実施。
- 前年度評価時と比較し、記載内容が「適切」であった数は増加し、一定の改善効果が見られた。
- 依然として記載内容が不十分だったものが、15あった。(全128の取組方針)

	R4年度（R5年度実施）	R5年度（R6年度実施）
適切	76／128	113／128
適切だった割合	59.4%	88.3%

★R4→R5改善率…+28.9%

(3)①効果が不明確な事例

3-2-2 就労支援の強化

新型コロナの影響が収束したことにより、他に阻害要因がない対象者は就職することができおり、複合的な課題を抱える就職困難者が増えている。丁寧な支援(関係機関と連携したチーム支援や伴走支援)と、配慮を必要とする対象者の受け入れが可能な企業の開拓と連携を強化していく必要がある。

➡「効果があった」「効果がなかった」を選択してから具体的内容の記述ができるよう、令和7年度(令和8年度実施)施策評価の評価表を工夫する。

(3)②定量的評価項目を記載している事例

6-2-1安全・安心に住み続けられる住まいづくり

各種家賃助成の件数は年々増加傾向にあり、子育てファミリー世帯の定住化や高齢者等の居住の安定に一定の効果をもたらしている。今後はファミリー世帯の定住化を促進するための支援策の検討が必要である。また、区営住宅の長寿命化については、今後の公営住宅の安定供給のため、建替えも視野に入れて計画を検討する必要がある。

- ➡助成件数が増加傾向にあることは定量的評価であり、「一定の効果」も具体的にどのような効果なのかが捉えられていない。
- ➡現状、このように定性的評価の視点が出てこない施策について、事務局では「事業等に対する区民の意見・感想」「アンケート結果」を視点の案として提案してきた。
(例えばこの事例では、「各種家賃助成対象者、区営住宅入居者等からの意見がないか」など)

(4)【課題2への対応】新基本計画の施策評価における定性的評価の視点①

- 「区民意識調査」は結果が数値として算出可能であるため、
従来から**定量的データ**として成果指標にも採用してきた。
- 事業等に対する区民の意見・感想の記述が定性的評価になりえるとした場合、
「区民意識調査」の結果は「目指すまちの姿の実現に対する区民の感覚を直接的に問う」という本質からすると、
定性的データの特性も持っていると言えるのではないか？
(所管課実施のアンケートや満足度調査の結果も同様)

➡区民意識調査の回答結果やアンケート等の数値目標であっても、
その「進捗状況」「具体的な事例」「根拠の解釈」等を記載できるのであれば、
定性的評価の具体的な事例の記載として適当と言えるのではないか？

(4)【課題2への対応】新基本計画の施策評価における定性的評価の視点②

⑤定性的評価の観点＝数字に現れない効果の定義について

「新基本計画における指標及び 目標値の設定方針」

○適切な抽出例

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点
介護保険や障害者福祉制度において、サービスの質の向上を進める事業者に対して適切な支援を行い、利用者が良質なサービスを安心して受けることができるまち。	①障害福祉サービス等指摘事項改善件数【件】	
誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、権利擁護体制が整備され、区民一人ひとりの権利が守られるまち。	③市民後見人の登録累計者数【人】	・支援が必要な人を早期に発見し、必要な支援につなぐことができているか、成年後見制度利用促進に係る体制整備の状況

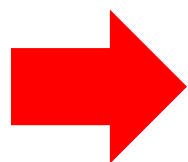
×不適切な抽出例

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点
公民の協働や地域の団体同士の相互連携が進み、地域課題の解決に向けて共に協力しあうまち。	①「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について、肯定的な回答をする区民の割合【%】	多様な主体間の相互連携の促進度

令和6年度第1回政策評価委員会の指摘事項

「〇〇の数や〇〇度」は数値化できるとの観点から不適切の項目にあるため、「相互連携の促進度」とした場合には定性的評価の視点としては不適切とされている。

しかし、他の適切・不適切の例を見ると、
同じ内容でも「促進度の状況」と表現すれば適切になったのではないか？
定性的評価の視点の定義が不適切ではないか？



新基本計画に基づく令和7年度施策評価(令和8年度実施)に向けて、
定性的評価の視点について見直しを進める

(4)【課題2への対応】新基本計画の施策評価における定性的評価の視点③

視点の書き方が「～～度」「～～率」「～～数」と表現されている場合でも…



その内容について、
「進捗状況」「具体的な事例」「根拠の解釈」等を捉えて記載できる
と思われる場合には、定性的評価の視点として適当とみなす。
(区民意識調査や、事業アンケート等の結果を含む)

<定性的評価となりえる主要素>

- ・事業等を実施する中で得られた区民の声、感想、反応
- ・サービスの質やレベルの向上
- ・地域、組織、関連機関との連携の状況
- ・その他、業務に関わる創意工夫

(4)【課題2への対応】定性的評価の視点の評価①

- 「指標設定チェックシート」に記載された「数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点」の所管課の記載内容を確認し、下記の通り評価した。
令和7年度中に評価内容を所管課にフィードバックし、視点の整理を行いたい。

全50施策・100取組方針の評価

評価	個数
○ … 適切 ※条件付きも含む	67
△ … 視点としてはよいが、具体性に欠ける等	8
× … 視点として不適當	25

→【資料4】
基本計画(2025-2029)
定性的評価の視点一覧

△、×の主な理由の内訳(重複あり)

- ①未記載 … 10
- ②現実的に数値化できない視点 … 8
- ③具体性が不十分 … 11
- ④実際に所管課が捉えられる視点であるか＝評価可能か疑わしい … 9
- ⑤的外れ … 2

(4)【課題2への対応】定性的評価の視点の評価②

○現実的に数値化できない視点を挙げている施策の例

6-⑤	人にも地球にも優しく行動する人の輪を広げる
定性的評価の視点	特に子ども世代への環境教育や普及啓発については、当該子どもたちが大人になったときにはじめて成果が見えてくる長期的な視点が必要なものであり、短期的に数値化するのは困難である。
事務局コメント(案)	現実的に数値化できない視点を挙げるのは×。専門家や学校との連携の状況や、子どもたちとの意見交換会の中で子どもたちの反応、また環境教育支援プログラムの感想を捉えることはできないか。

7-②	池袋駅周辺地域の再生
定性的評価の視点	池袋駅周辺の歩行者数【人】
事務局コメント(案)	現実的に数値化できない数値を挙げるのは×。職員や区民の体感でもよいので、池袋周辺の歩行者数の変化や、エリアマネジメント団体から取組に関する声を捉えられないか。取組方針ごとでなく、施策で一つの視点を抽出するのもよい。

(4)【課題2への対応】定性的評価の視点の評価③

○具体性が不十分な施策の例

2-①-2	未就学児の子育て世帯への支援
定性的評価の視点	・訪問相談によって、満足度を得られたか
事務局コメント(案)	訪問相談によって「支援を受けた保護者が(?)」満足できたか、ということが書きたいのか。適切な説明が加えられればよいのでは。

3-①-1	どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化
定性的評価の視点	・相談内容ごとの質の濃淡。
事務局コメント(案)	どういった状態を指しているのかわかりづらく、もう少し具体的な説明が必要。同じ相談1件でもボリュームが違う、ということは言いたいのか。「相談内容に応じた適切な相談対応ができている」など？

(4)【課題2への対応】定性的評価の視点の評価④

○実際に所管課が捉えられる視点であるか＝評価可能か疑わしい施策の例

4－⑤	生涯を通じたスポーツ活動の推進
定性的評価の視点	・スポーツによる健康寿命の延伸、医療費や介護費用の抑制などの効果。 ・スポーツ活動に関する意識、行動変容。
事務局コメント(案)	2点目は評価時に、職員の体感でもよいので、左記視点に基づいた具体的な事例を記載できるのであれば○。ただし、1点目は行政評価を1年単位で行う都合上、単年では観測が難しい視点ではないか。

5－③	観光資源の活用による地域経済の活性化
定性的評価の視点	・区内各地の観光資源が活用され、区内への来街者数の増加につながっているか。
事務局コメント(案)	視点として間違いとは言えないが、直接この効果を掴むことは現実的には難しいと思われる。何によってこの効果を掴むのか、より具体的に視点を抽出されたい。各種イベント参加者やトキワ荘来館者の声、企業との連携の事例などが挙げられるとよいのでは。

(4)【課題2への対応】定性的評価の視点の評価⑤

○定性面における視点から外れた記載

3-②-1	交通安全対策の推進
定性的評価の視点	地域と連携し進める左記等の諸活動を通じて、区は地域情報に直接触れることができる。なにより区民が交通安全へ関心を持つきっかけとなっている。
事務局コメント(案)	数値で捉えられない施策の効果にはどのようなものがあるか、を抽出されたい。取組方針から、交通安全対策た普及啓発に対する区民の反応、駐輪場利用者からの声を捉えられないか。

3. 令和6年度(令和7年度実施) 行政評価について

(1)令和6年度(令和7年度実施)行政評価スケジュール(案)

時期		政策評価委員会	現基本計画(2022-2024) 令和6年度(令和7年度実施) 行政評価	新基本計画(2025-2029) 令和7年度(令和8年度実施) 行政評価
R 7	4月～5月		依頼準備	
	6月～8月		実施、集計	評価体系の構築
	9月		(中旬)区議会第三回定例会にて 結果報告	
	10月	令和7年度第1回 予定	結果報告	施策評価・事務事業評価(案)審議
	11月～1月			審議結果を踏まえた検討
	2月	令和7年度第2回 予定	課題検討	施策評価・事務事業評価(案)決定

(2)施策評価(案)

○令和6年度(令和7年度実施)施策評価は、基本計画(2022-2024)計画期間における最終年度の評価となる。

○新計画では施策体系自体が変わっているため、従来様式にあった詳細評価の一部を省略し、**簡易版の評価表による評価としたい。**

※前期基本計画(2020-2021)の最終年度であった、令和3年度(令和4年度実施)施策評価も同様の評価形式で実施した。

(2)施策評価 簡易版様式(案)

令和6年度(令和7年度実施) 施策評価表							
1 施策No.							
2 地域づくりの方向							
3 政策							
4 施策							
5 目指すべきまちの姿							
6 評価責任者	例:〇〇部長(個人名は入れない)						
7 施策関連課							
8. 施策の指標達成状況	成果を測る参考指標	1 ページ		後期計画策定時(2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度達成状況	(例) A:達成	目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!			
	活動指標			後期計画策定時(2021)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和5年度達成状況	(例) B:相当程度達成	目標値				
			実績値				
			達成率	#DIV/0!			
9. 令和6年度の達成状況分析							

案

→【資料5】
令和6年度（令和7年度実施）施策評価表
（簡易版案）

(※参考)令和3年度(令和4年度実施)施策評価表

令和3年度 施策調査表

1 施策No.	2-2-1							
2 地域づくりの方向	多様性を尊重し合えるまち							
3 政策	平和と人権の尊重							
4 施策	平和と人権意識の普及・啓発							
5 評価担当部	総務部							
6 施策関連課	総務課	区民相談課						
7 評価者	総務部長							
13 施策の達成度を測る 指標の推移	指標(1)	基本計画指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	「地域社会において平和 と人権が尊重されている」について、肯定的な 回答をする区民の割合 【%】	目標値		19	20	21	22	23
		実績値		29.6	26.6	28.5	27.7	29.4
		達成率		155.8%	133.0%	135.7%	125.9%	127.8%
		達成状況		S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	A:達成	A:達成
	指標重要度 の割合(%)	50	指標設定理由	平和と人権が尊重されている地域社会であることを示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	平和と人権の尊重が社会に 浸透していると考え る区民の割合【%】	目標値		30.7	31.6	32.4	33	33.6
		実績値		33.3	33.3	60	50.8	38.5
		達成率		108.5%	105.4%	185.2%	153.9%	114.6%
		達成状況		A:達成	A:達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	A:達成
	指標重要度 の割合(%)	50	指標設定理由	平和と人権を尊重する意識が区民に浸透しているかを示す指標であるため				
	令和3年度 達成状況	121.2%						

(3)事務事業評価(案)

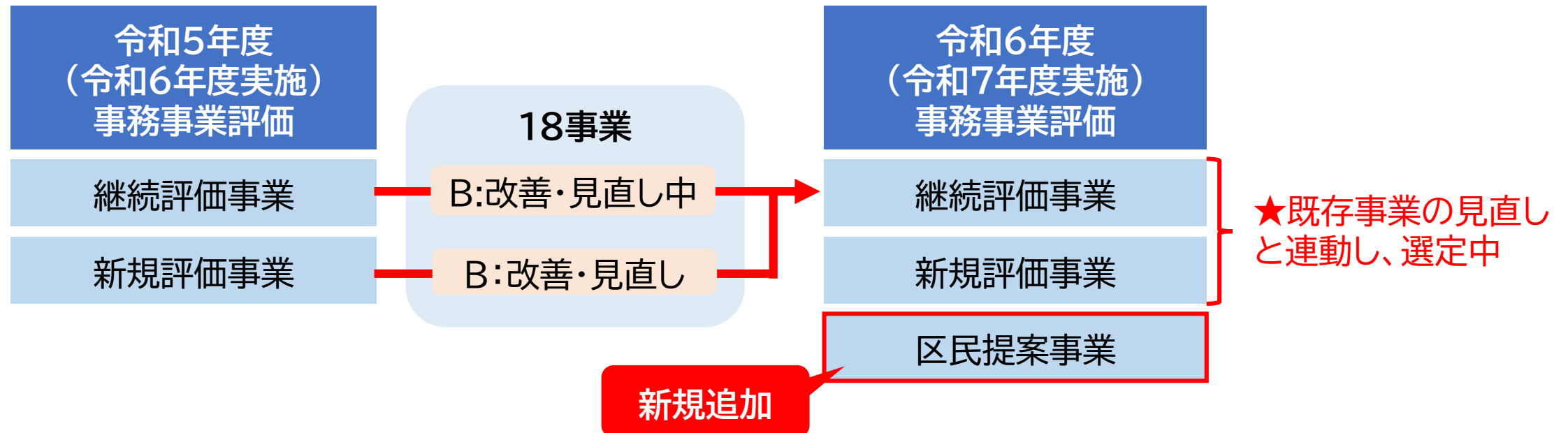
○従来通り、4通りの評価形式によって評価を実施。

	評価形式	事業の種類
①	事務事業評価表	事務事業評価選定事業(※後述)
②	主要な施策の成果報告	「令和7年度主要な施策の成果報告」掲載事業
③	事務事業進捗状況確認表	上記1～2に該当しない事業のうち、施設の維持管理や課の庶務事務のような内部事務事業を除いた事業
④	事務事業一覧表	上記1～3に該当する事業及び施設の維持管理や課の庶務事務のような内部事務事業を含む全ての事業

(3)①事務事業評価選定事業

○令和6年度に引き続き、「既存事業の見直し」と連携し、**令和7年度は事務事業評価結果を予算に反映する仕組みを検討・実施する。**

○新規に、「令和5年度区民による提案事業制度」による事業について、令和6年度以降継続的に実施されている事業を対象として評価を実施する。



(3)②区民提案事業

	事業名	事業内容	R7事業(案)概要
1	空き店舗活性プロジェクト	・区内空き店舗等において事業を始める方へ、賃借料及び店舗整備費を補助 ・コーディネーターを設置し、物件開拓や開業者のサポートを担当	・採択事業者への賃借料補助 ・採択事業者への店舗改修費補助 ・区指定コーディネーターへの補助
2	未利用地の有効活用 (投票時の提案名:道路予定地の有効活用)	柵で囲われて使用されていない未利用地を有効活用し、子どもたちが楽しめる遊びのイベント等を計画	・未利用地に限らず区内の施設・公園等で各事業者が1日限定の単発イベントを開催できるよう誘致・後方支援 ・後援名義申請の受付 ・会場の斡旋 ・会場使用料の減免手続き、広報周知協力など(プレーパーク事業の一環として実施)
3	スポーツのチカラで子どもたちの健康な未来を築こう	・プロスポーツ選手等を招いて実施するスポーツ教室 ・パラスポーツ体験等スポーツイベントの拡充 ・スポーツ施設の開放による子どもの居場所、遊び場づくり	・トップアスリート交流イベント及びパラスポーツ体験については、既存の事業費にて対応
4	外国人支援体制の強化 (投票時の提案名:区民が運営する多文化共生センター事業)	・外国人相談窓口の機能拡充 ・生活オリエンテーション動画を多言語で作成・配信	・外国人相談窓口相談員(会計年度任用職員)1名配置 ・翻訳タブレットを活用し22言語に対応 ・相談窓口のリーフレットを作成、外国人転入者全員に配布